

室神山

学校便り
平成30年7月20日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

1学期が無事終了しました。保護者並びに地域の皆様方そして関係諸機関・諸団体の皆様方には、本校の教育活動に対しまして、多大なるご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

6月14日(木)の全校朝礼で話したこと

玉江大会の表彰をしたり、ミニ玉江大会も含めての振り返りをし、全校児童で健闘を労いあった後、次のような話をしました。



表彰(入賞選手が起立)

玉江大会もミニ玉江も、友達を一生懸命に応援することができていました。友達の幸せを本気で願うことができていたと思います。人の幸せを願ったり、祈ったりできる人のことを優しい人と言います。皆さんが人に優しくできる子に育っている証拠です。とてもうれしいことです。

頑張って学ぶ子もバッチリです。本当に自分の力を出し切って頑張りました。自己新記録も沢山出ました。その経験から多くの学びを得たに違いありません。

芯が強くたくましい子もばっちりだと思います。結果のよし悪しはあったでしょうが、それを引きずっていないことが先生方の話からわかります。天狗になって自慢したり、誰かや何かのせいにして結果を受け止めることができなかつたりした子はいません。自分の結果を自分の責任で受け止め、そこから学び、明日に向かってたくましく生きていっています。素晴らしいと思います。これからもいろいろな行事や学習があります。何事に対しても、自分で意味づけをし、意欲をもって全力でチャレンジしていきましょう。これからも被害者の道を歩くのは止めて、力強く、主人公の道を歩いていきましょう。

救急法講習 給食試食会



6月19日(火)の授業公開日に合わせて、救急法講習が行われました。今年度から、6年生はJRC(青少年赤十字)に加入し、その活動の一環としても参加しました。一人一台のダミーを使っての心臓マッサージ、人工呼吸法の実技講習を行いました。AEDの講習も受けました。命の大切さ、救急処置の重要性について貴重な学びの機会となりました。いざという時に勇気を持って行動できるように成長して欲しいと思いました。

また、低学年の給食試食会も行われました。保護者の方々を迎えてのいつもと違う雰囲気の良い給食タイムを、子どもたちは楽しんでいました。保護者対象の食に関する指導についての講義もありました。成長にとって大切な『食』についての望ましい食習慣や知識を子どもたちがしっかりと身につけて欲しいと思います。学校でも今後引き続き、食に関する指導していきたいと思っておりますので、今後の著しい心身の成長を健全なものとするよう、ご家庭においてもご協力の程よろしくお願い申し上げます。

宿泊体験学習（5年生）



6月25日（月）26日（火）の2日間、5年生が江津少年自然の家で宿泊体験学習をしました。火起こし、やぐら作り、カレー作り、キャンドルの集い、創作活動など、みんなで協力して一生懸命に活動に取り組み、とても楽しんでいました。体調を崩すこともなく、全員で2日間を元気に過ごし

ました。少年自然の家の先生からも、チームワークがいいですねと褒めていただきました。活動全体を通して、きちんとマナーを守り、節度をもって行動できていました。終わり頃には「もう1日泊まりたい」という声も聞こえてきました。

天候も2日目のカレー作り（屋根の下での活動）の時だけ雨が降りましたが、予定通り充実した活動を行うことができました。この宿泊研修を通して学んだことを、日々の学校生活に生かし、来年度は江津東小学校をしっかりと引っ張ってくれる素敵な最高学年となってくれることと期待しています。



東っ子を語る会

6月28日（木）に第1回東っ子を語る会がありました。5時間目に全校の授業の様子を見ていただいた後、情報交換などを行う予定でしたが、9号線（尾浜の交差点付近）でトラックが炎上するという事故が起き、爆発音がしたり、渋滞が発生したりしました。そのため児童の下校時の安全確保のための対応が必要となり、残念ながら会を話し合いの前半で中止とさせていただきます。お忙しいところを参加していただいた皆様には、大変申し訳なく思っております。積み残した内容もあったと思います。次回（11月28日開催予定）の東っ子を語る会を充実した協議・情報交換にしたいと願っておりますので、どうか積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



地区懇談会

7月3日（火）4日（水）に本校校区4地区で地区懇談会が開催されました。「夏休みの暮らし」をもとに気をつけなくてはならないことなどが確認されました。夏休みは、子どもが家庭や各地域で過ごすことが多くなります。安全に過ごせるよう、生活リズムが乱れないように見守りとご指導をよろしくお願いいたします。

また校区には、海、川、J R、国道9号線等があり、命に関わる事故の危険性もあります。今年度は地域の方から、潮流の影響で海岸の様子が例年と随分違ってきたという情報をいただきました。砂浜もかなり減少しています。海水浴の時など、十分に気をつけてほしいと思います。特に夏休みの事故は、前半に集中する傾向があるようです。生活パターンの変化や夏休みに入った解放感から、つい気が緩んでしまうからかもしれません。学校でも危険への判断力や回避能力を育成するための安全教育、安全指導を進めていますが、充実した夏休み、楽しい思い出いっぱいの夏休みになりますよう、ご家庭、地域の皆様方に

は子どもの安全につきまして、格別の見守りとご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

赤ちゃん登校日（5年生）



5年生は7月6日（金）に最後の赤ちゃん登校日がありました。雨の降る中、地域の方や企業の方など、多くの方々に足を運んでいただき、本当に感謝です。3回目の出会いで、関わりが一層深まり、子どもたちは積極的に、赤ちゃん家族と関わっていました。子どもたちにとって深い、心に残る貴重な経験になったと思います。この体験学習を通して、たくさんの学びを得ることができたに違いありません。このような貴重な経験の機会を与えてくださった高塚人志先生、赤ちゃんとその家族、江津市子育てサポートセンターの皆様を始め、ご協力いただいた多くの皆様に改めて感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

5年生の感想をいくつか紹介します。

- 私たちは大切に育てられたということがわかりました。今まで育ててくれた家族に感謝したいです。話をしている人の方を向いて関心を持って聴けるクラスにしたいです。
- 私が今ここにいるのは家族のおかげです。家族にありがとうを伝えたいです。友達と仲良くできる素敵な6年生になりたいです。
- 命は一つしかない大切な宝物だと思いました。来年は自分の命を大切にして、友達のことを考えられる6年生になりたいです。

J P X 起業体験プログラム（6年生）

7月12日（木）より、6年生が「起業体験学習」に取り組み始めました。これはJ P X（株式会社日本取引所グループ）からアドバイザーにきていただき、指導・支援をしてもらいながら取り組んでいくもので、本校では平成28年度に、当時の6年生が一度取り組んでいます。本物の公認会計士や司法書士らのサポートのもと、会社経営の全てのプロセスを体験するもので、出資を受け、模擬の株式会社を設立し、現金を使って事業活動を行い、決算書類を作成し、最後に株主総会を開催して会社を解散します。



初めての今回はオリエンテーション、ルール説明の後、チームを作り、アイデアを出し合いました。子どもたちは活発に意見交換をしていました。実際に事業を行うことができるということで、子どもたちは非常に意欲的になったようです。今後、事業計画の発表、模擬店出店、株主総会など、様々な内容を通して、体験的に学んでいきます。キャリア教育的な面だけでなく、様々な学習要素が含まれていると感じました。子どもたちにとって貴重な学びの場になるものと期待しています。

スサノオマジック 夢授業（6年生）

7月19日（木）の1・2校時、本校に地元のプロバスケットボールチーム 島根スサノオマジックの後藤 翔平選手、北川 弘選手に来ていただき、夢の大切さのお話やバスケットボールの指導をしていただきました。渡津小学校と桜江小学校の6年生も参加し、良い交流になりました。



プロバスケットボールの選手のお話を聞いたり、目の前で華麗な技を見たりすることができ、子どもたちはずいぶん興奮していました。こ

の貴重な夢授業から、子どもたちは多くの刺激を受け、学びを深めることができたと思います。

終業式で話したこと

～前略～一学期の成長は、お家の人の支え、先生や友達、その他様々な人との出会いがあったからこそ起きたのだと思います。そして本気で向かっていき、頑張った自分がいたから成長できたのです。改めて1学期を振り返り、お家の人、先生方、友達、頑張った自分自身に感謝してほしいと思います。

それから、見守りや読み聞かせボランティアの方々、地域の方々、コミュニティーセンター、江津市教育委員会、給食センターの方々など、みんなのために一生懸命になってくださる方々があります。1学期が無事に終わったのは、そういう方々のおかげでもあります。改めて感謝と尊敬の思いをもちましょう。節目節目で感謝の思いを確認し、その方々を尊敬することは、これからの皆さんの成長において、大きな力になります。

さて、毎年話しますが、命と時間と夢（希望）は、実は同じものだと思います。命がなくなれば、時間も夢もなくなってしまいます。そこでストップです。夏休みは楽しいけれど、危険もいっぱいです。交通事故や水の事故など、十分に気をつけてください。安全については家族としっかり話し合っ、校外生活の決まりを守り、大事な自分の命を守ってくださいね。また、時間がなくなるということも、命をなくしています。夏休みの39日という時間を大切に、遊びや勉強、いろいろなチャレンジをして、成長のために役立ててほしいと思います。そして、夢（希望）を失うということは生きる意味を失うということです。どうか「夏休みの終わりにはこうなりたいな」などの具体的な夢をもって、それを追いかけてください。みんなの夏休みが、素敵な生きた時間の詰まったものになるよう願っています。

では、最後にいつもの宿題を出します。一つ目は一日一回『親切など、自分が善いと思うことを人に内緒でやる』ということです。陰の行です。二つ目は『感謝日記』です。一日の終わりに「ありがとう」と言いたくなることを見つけてほしいと思います。高学年は三つ、中学年は二つ、低学年は一つでいいので、毎日見つけてください。そうすると、きっと元気が出ると思います。感謝して幸せになる力がつきます。それを夏休みに挑戦してほしいのです。

この世は鏡です。常にスタートは自分からです。鏡の前の自分が笑わないと、世界は笑いかけてはくれません。人は自分の人生の主人公だからです。誰でも人から認められたいと思っています。人から好かれたい、愛されたいとも思っています。誰からも認められず、嫌われながら生きていきたいと本気で願っている人は一人もいないと思います。人は一人では生きていけない生きものだからです。

では人から一番尊敬される人はどんな人でしょう。それは一番人を多く尊敬する人です。人から一番好かれ、愛されている人はどんな人でしょう。それは人を大好きで、一番多く愛する人です。だから、人のいいところを見つける目、感謝の種を見つける目が大切なのです。人を批判し、不満ばかりを言いながら、いくら自慢をしても…。自分をすごいでしょう、自分が正しいでしょうと大声で言い、宣伝をしても、うまくはいきません。最後には惨めでかわいそうな自分と向き合うことになり、自分を好きになれなくなるのだと思います。自分さえ好きになれない自分を人が好いてくれるわけではないのです。自分を好きになるための一番いい方法は、感謝できる自分になることです。感謝は自分を幸せにします。幸せな自分であれば、好きになっていけるのです。人生の主人公である自分が「これから感謝して生きるぞ！」と決心しさえすればいいのです。それぐらい自分はパワフルです。自分で人生の責任をとる力があるのです。どうか二つの宿題に本気でチャレンジしてください。『感謝しないで生きると、この世はひどい目に合うようにできている』そうです。たくさん感謝して、幸せになる力を高め、素晴らしい夏休みにしてください。

お知らせ

7月9日（月）に2名の児童（2年生男子と5年生男子）が本校に転入してきました。全校朝礼で拍手で迎えました。これで全校児童は100名になりました。早く学校や地域に慣れて、元気いっぱい楽しく生活してほしいと思います。